# 各会計の決算状況

## 1. 一般会計の決算状況

(単位:千円)

				, ,	— · · · · · · · ·	
平月	成19年度決算	額	C の内訳			
歳入総額 A	歳出総額 B	差引 (A-B) C	繰越明許費 繰越額	基金積立額	翌年度 繰越額	
4, 845, 028	4, 776, 380	68, 648	7, 192	31, 000	30, 456	

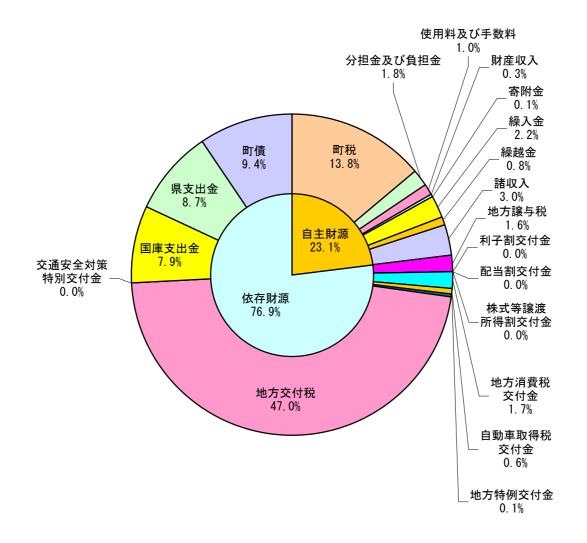
平成19年度の決算額は、歳入が48億4502万8千円で、前年度と比較すると2億8516万1千円(6.3%)の増加、 歳出は47億7638万円で、2億8440万3千円(6.3%)の増加となっています。

また、歳入から歳出を差し引いた剰余金6864万8千円のうち、719万2千円を翌年度繰越事業の財源として繰り越し、3100万円を財政調整基金へ積み立て、残りの3045万6千円は平成20年度へ繰り越しました。

### ●歳入

(単位:千円、%)

	(十四:	1130 707				
区分	平成19年	度	平成18年	度	増減額	増減率
区刀	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	(A-B) C	C/B*100
町税	668, 965	13. 8	606, 359	13. 3	62, 606	10. 3
地方譲与税	76, 334	1. 6	144, 732	3. 2	△ 68, 398	△ 47.3
利子割交付金	2, 775	0.0	1, 982	0. 1	793	40. 0
配当割交付金	1, 717	0. 0	1, 368	0. 0	349	25. 5
株式等譲渡所得割交付金	880	0.0	1, 115	0.0	△ 235	△ 21.1
地方消費税交付金	81, 707	1. 7	83, 284	1.8	△ 1,577	△ 1.9
自動車取得税交付金	27, 625	0. 6	27, 360	0. 6	265	1. 0
地方特例交付金	6, 040	0. 1	10, 666	0. 2	△ 4, 626	△ 43.4
地方交付税	2, 274, 954	47. 0	2, 047, 728	44. 9	227, 226	11. 1
交通安全対策特別交付金	1, 662	0. 0	1, 766	0. 0	△ 104	△ 5.9
分担金及び負担金	87, 945	1.8	90, 201	2. 0	△ 2, 256	△ 2.5
使用料及び手数料	52, 017	1. 0	52, 955	1. 2	△ 938	△ 1.8
国庫支出金	381, 531	7. 9	289, 252	6. 3	92, 279	31. 9
県支出金	420, 506	8. 7	478, 827	10. 5	△ 58, 321	△ 12.2
財産収入	14, 899	0. 3	26, 307	0. 6	△ 11, 408	△ 43.4
寄附金	3, 000	0. 1	2, 000	0. 1	1, 000	50.0
繰入金	104, 257	2. 2	133, 419	2. 9	△ 29, 162	△ 21.9
繰越金	37, 890	0.8	40, 917	0. 9	△ 3,027	△ 7.4
諸収入	144, 410	3. 0	131, 129	2. 9	13, 281	10. 1
町債	455, 914	9. 4	388, 500	8. 5	67, 414	17. 4
合計	4, 845, 028	100.0	4, 559, 867	100.0	285, 161	6. 3



歳入総額は、前年度より2億8516万1千円(6.3%)増加の48億4502万8千円です。地方交付税が歳入の約半分を占めるなど国や県への財源依存度は非常に高く、いかに自主財源を確保していくかが重要な課題です。 各区分における増減の主な要因は次のとおりです。(増減額の大きい順)

○地方交付税(227, 226) → 普通交付税(158, 166) 特別交付税(69, 060)

○国庫支出金(92, 279) → 安心・安全な学校づくり交付金(54, 995)
公立学校施設整備費負担金(30, 061)
道路等災害復旧事業費負担金(△7, 768)

後期高齢者医療制度創設準備事業費補助金(5,647)

○地方譲与税(△68, 398) → 所得譲与税(△66, 272)
自動車重量譲与税(△1, 640)
地方道路譲与税(△486)

義務教育施設整備事業債(124,100)

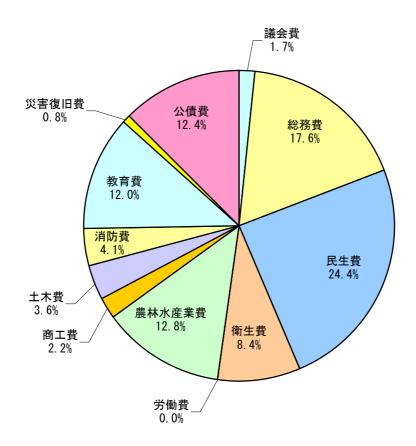
○地方債(67,414)→ 義務教育施設整備事業債(124,100)県営広域営農団地農道整備事業債(△38,100)辺地対策事業債(30,900)

○町税 (62,606) → 町民税 (56,899) 固定資産税 (6,205)

#### ●歳出

(単位:千円、%)

巨八	平成19年	度	平成18年	度	増減額	増減率
区分	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	(A-B) C	C/B*100
議会費	81, 638	1. 7	89, 937	2. 0	△ 8, 299	△ 9.2
総務費	840, 164	17. 6	616, 744	13. 7	223, 420	36. 2
民生費	1, 163, 669	24. 4	999, 450	22. 2	164, 219	16. 4
衛生費	399, 926	8. 4	619, 978	13. 8	△ 220, 052	△ 35.5
労働費	125	0.0	122	0.0	3	2. 5
農林水産業費	611, 297	12. 8	731, 659	16. 3	△ 120, 362	△ 16.5
商工費	106, 984	2. 2	104, 182	2. 3	2, 802	2. 7
土木費	171, 219	3. 6	161, 849	3. 6	9, 370	5. 8
消防費	194, 826	4. 1	193, 178	4. 3	1, 648	0. 9
教育費	575, 154	12. 0	340, 671	7. 6	234, 483	68. 8
災害復旧費	39, 541	0.8	74, 125	1. 7	△ 34, 584	△ 46.7
公債費	591, 837	12. 4	560, 082	12. 5	31, 755	5. 7
合計	4, 776, 380	100. 0	4, 491, 977	100.0	284, 403	6. 3



歳出総額は、前年度より2億8440万3千円(6.3%)増加の47億7638万円です。年々増加傾向にある公債費は財政運営を圧迫しており、町債新規発行の抑制を図り公債費削減に取り組まなければなりません。 各区分における増減の主な要因は次のとおりです。(増減額の大きい順)

○教育費(234, 483) → 大浦中学校屋内運動場増改築等事業(231, 746)

○総務費(223,420)
→ 公共施設整備基金積立金(132,505)
財政調整基金積立金(44,225)
電算システム改修委託料(12,968)
航空写真共同撮影委託料(3,929)

○衛生費(△220,052)老人保健特別会計繰出金(△148,873)町立太良病院事業会計拠出金(△33,311)

○民生費(164, 219) → 老人保健特別会計繰出金(145, 693)

佐賀県後期高齢者医療広域連合負担金(6,776)

老人ホーム入所措置費 (△5,986) 保育所運営委託料 (3,994)

○農林水産業費(△120,362) → 高潮対策事業費(△52,700)

県営土地改良事業元利補給補助金 (△22, 232)

広域漁港整備事業 (△20,220)

また、各区分における主な事業は次のとおりです。

◇総務費 → 財政調整基金積立金(172,498)

公共施設整備基金繰入金 (145,117) 電算システム改修委託料 (19,284)

◇民生費 → 保育所運営委託料 (265, 595)

心身障害者施設訓練等支援費(123,586)

児童手当措置費 (89,125) 老人ホーム入所措置費 (37,666)

◇衛生費 → ごみ収集運搬処分業務委託料(51,450)

老人保健事業費 (43,868) 予防接種事業費 (10,413)

◇農林水産業費 → 広域漁港整備事業費(122,465)

県営広域農道整備事業負担金 (86,100) 中山間地域等直接支払交付金 (79,060) 糸岐漁港高潮対策事業費 (32,666)

◇商工費 → 廃止路線代替バス運行費補助金 (6,142)

納涼夏まつり補助金 (2.625)

◇土木費 → 道整備交付金事業費 (62, 274)

辺地対策事業費 (30,945)

◇消防費 → 消防施設整備費補助金 (8,446)

◇教育費 → 大浦中学校屋内運動場増改築事業費 (231,746)

高校総体鹿島市·太良町実行委員会負担金(11,833)

B&G運動広場改修事業費(8,767)

## 2. 特別会計の決算状況

(単位:千円)

	平	成19年度決算	C の内訳		
会計名	歳入総額 A	歳出総額 B	差引 (A-B) C	基金積立額	翌年度 繰越額
老人保健	1, 474, 690	1, 479, 365	△ 4,675	_	△ 4,675
国民健康保険	1, 716, 230	1, 682, 052	34, 178	17, 100	17, 078
山林	39, 587	38, 252	1, 335		1, 335
簡易水道	78, 286	74, 864	3, 422	1, 720	1, 702
漁業集落排水	50, 412	48, 162	2, 250	_	2, 250

※老人会計の歳入歳出差引不足額については、翌年度繰上充用金4,675千円で歳入不足を補てんした。

(単位:千円、%)

	平成19年度決算額		平成18年度決算額		増減			
会計名	歳入	歳出	歳入	歳出	歳入		歳出	
	Α	В	С	D	A-C	増減率	B-D	増減率
老人保健	1, 474, 690	1, 479, 365	1, 445, 919	1, 441, 498	28, 771	2. 0	37, 867	2. 6
国民健康保険	1, 716, 230	1, 682, 052	1, 616, 014	1, 499, 574	100, 216	6. 2	182, 478	12. 2
山林	39, 587	38, 252	28, 153	24, 740	11, 434	40. 6	13, 512	54. 6
簡易水道	78, 286	74, 864	80, 876	78, 441	△ 2,590	△ 3.2	△ 3,577	△ 4.6
漁業集落排水	50, 412	48, 162	54, 241	51, 604	△ 3,829	Δ 7.1	△ 3, 442	△ 6.7

国民健康保険特別会計では、保険財政共同安定化事業等に係る経費が増えたことにより、歳入・歳出とも に前年度より1億円以上増加しています。また、老人保健特別会計では、1人当たりの医療費の増加等により、 歳入・歳出ともに2800万円以上増加しています。

## 3. 企業会計の決算状況

(単位:千円)

		平成19年度決算額					
会計名	区分	収入総額	支出総額	差引			
		Α	В	A–B			
町立太良	収益的	711, 895	842, 632	△ 130, 737			
病院	資本的	5, 410	9, 075	△ 3,665			
水道	収益的	52, 901	50, 303	2, 598			
小坦	資本的	0	16, 221	△ 16, 221			

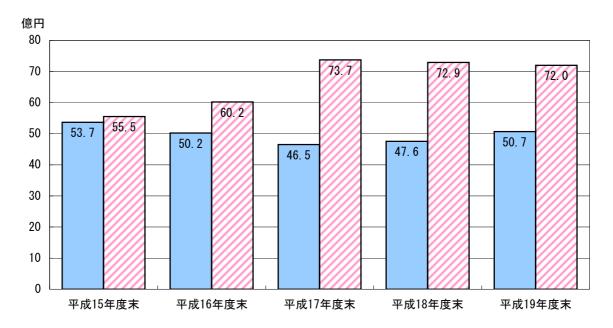
※ 資本的収支の不足分は、それぞれの事業 会計の内部留保資金によって補てんされ ています。

(単位:千円、%)

		平成19年度決算額		平成18年度決算額		増減			
会計名	区分 収入 A	収入	支出	収入	支出	収入		支出	
		Α	В	С	D	A-C	増減率	B-D	増減率
町立太良	収益的	711, 895	842, 632	696, 706	968, 855	15, 189	2. 2	△ 126, 223	Δ 13.0
病院	資本的	5, 410	9, 075	94, 391	131, 654	△ 88, 981	△ 94.3	△ 122, 579	△ 93.1
水道	収益的	52, 901	50, 303	53, 226	49, 024	△ 325	Δ 0.6	1, 279	2. 6
小坦	資本的	0	16, 221	0	13, 975	0	_	2, 246	16. 1

町立太良病院事業会計では、病院建設整備事業費の減少により、資本的支出が約1億2000万円減少しています。

## 4. 基金及び地方債現在高の状況(全会計)



■基金現在高 ■地方債現在高

上のグラフは、全会計における基金(積立基金及び定額運用基金)と地方債の現在高の推移を表しています。平成15年度末には地方債現在高と基金残高が同水準程度だったものが、年々その差が広がっており、厳しい財政状況が見てとれます。

また、平成16年度末から平成17年度末にかけて地方債現在高が大幅に増加しいるのは、平成17年度において病院建設整備事業に係る約18億円の借り入れがあったためです。

なお、地方債では普通交付税で償還の一部が補てんされますので、実質的な町の負担は約5割程度となります。